

平成 30 年度沖縄県若年性認知症支援推進事業  
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。  
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等

日時：2018年4月21日(土) 13時～15時 会場 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

本日のプログラム

13時～15時 本人交流会

当日の様子

参加者数 12人 （内訳：当事者 4名、家族 6名、専門職 2名）

様子：

自助グループの方がたが中心に利用されました。自助グループの方々は、これまで県外の当事者グループとの交流のなかで頂いたお米やお菓子などのお礼にと、グループの畑で取れた島らっきょうの発送用処理を活動として行われています。同時に「本日収穫したタマネギをカフェの駐車場で即席販売したい」と提案あり、本日は野菜販売まで行われました。

また本日は南極より届いた氷の差し入れがあり、急遽、南極の氷を楽しむお茶会（焼きそばとコーラ会）も行われました。氷の泡がプツプツと音をたて、数億年前の空気を感じながら飲みほす素敵な経験を、みなさんで楽しまれていました。

主催者より

平成 30 年度沖縄県若年性認知症支援推進事業では、年 12 回毎月第三土曜日（6 月のみ第 4 土曜）に若年性認知症カフェ（ご本人ご家族交流会）を行います。自助グループのみなさんも毎回活動の場として利用されています。是非、認知症と診断されたばかりの方、これまで同じ病のかたに会えず一人で悩みを抱えていた方、多くの方にカフェを利用して頂きたいです。

みなさんの知恵を持ち寄り、前を向き、少しでも楽しい日々が切り開けるよう交流しましょう！心よりお待ちしております。



本日は急遽、タマネギの即席販売も行いました。

担当 新オレンジサポート室 中野小織